

又只管事業主、所在捜査ニ狂奔シ送レル外格別ノ對策モナカ
 リシカ本月十八日夜上板橋相共和俱樂部ニ於テ爭議真相發表
 演說會、明確シ聽衆約二百五十名、井上東京鐵工組合主席原
 虎一外十八名ニシテ何レモ事業主ノ冷酷ナル態度ヲ論難シタ
 ル後附近住民ノ同情ト後援ニヨリ最後ノ勝利ヲ期スヘシト論
 シ相當ノ反響アリテ無事散會セリ

二、交渉状況

六月二十日午後二時四十分頃、爭議團代表青藤猛以下五名ハ市
 外西巢鴨町宮仲一、九二三番地工場代理人小金井護士方ヲ
 向シ前四口約セル事業主トシテ、金井ノ運ニ至ラサル不誠意ヲ
 詰問シタル上、未交渉ハ工場主ト、直接ニアラサレハ解決不可
 能ニ付、格力會員セシムル機盡シサレタリト要求シタルニ、小金井并
 護士ハ次回ノ會見ニ際シテハ誠意ヲ以テ工場主ト會見ヲ為シ得ル極スヘシト約シ追テ
 日時場所等ヲ通知スル旨ヲ述ハタルヲ代表員一同無事退去セリ
 及申(通)報候也



勞務第 二六七 號

昭和六年六月三十日 警視總監 高橋守雄

内務大臣 安達謙藏 殿
 社 會 局 長 官 殿

鈴木伸銅工場、勞働爭議ニ関スル件 (第四報)

要旨……爭議團側ハ印刷物配布、外格別ノ行動ナク六月二十七日勞務會見
 了ラシムル工場主ノ率側ニヨリ、近頃ノ反スニテ終リ

標記勞働爭議其ノ後ノ経過左記ノ通

一、爭議團側

本爭議團長鈴木明重外九名ハ六月二十二日午前八時頃工場主
 代理人小金山亦護士方ヲ訪ヒ工場主ヲ出セト怒聲シ午後

2692
 6. 7. 6